

令和7年6月24日（火）

令和7年度第3回定例教育委員会

会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和7年6月24日(火) 午前10時00分
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 丸 智彦 委員 村松 弘康  
委員 新山 訓代 委員 中村 通宏  
委員 横山 春奈
4. 欠席委員 なし
5. 出席事務局職員  
教育総務部長 佐藤 和文 生涯学習部長 菊地 統  
生涯学習部次長兼文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎  
教育総務部次長兼学校教育課長 山崎美弥子  
総務課長 高橋 純  
教育相談センター所長 遠藤 美香  
指導課長兼小中一貫推進室長 鈴木 美枝  
少年センター長 佐藤 友一  
生涯学習課長 斉藤 幸弘 生涯学習課主幹 段林 恭子  
鳥の博物館長 大山 絢子 図書館長 中山 千草  
学校教育課主幹 蛭原 弘治
6. 欠席事務局職員  
学校教育課主幹 齊藤 優

午前10時00分開会

○丸教育長 ただいまから令和7年度第3回定例教育委員会を開会します。

---

会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。新山委員にお願いします。よろしくをお願いします。

---

議案第1号

○丸教育長 日程第2、議案の審査を行います。

議案第1号、我孫子市学校施設個別施設計画の一部改訂について、事務局から説明をお願いします。

○高橋総務課長 議案第1号、我孫子市学校施設個別施設計画の一部改訂についてです。

提案理由は、学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保し、今後の整備方針を示すために我孫子市学校施設個別施設計画を令和2年3月に策定し、策定時に5年ごとに見直すとしていたことから、計画の見直しを実施し、老朽化がさらに進む学校施設について、今後、より一層事後保全ではなく、計画的な維持管理が実現できるよう一部改訂するため、提案するものです。まず、見直しの根拠についてです。令和2年3月に我孫子市学校施設個別施設計画を策定する際に、計画期間を2020年度から2059年度までの40年間とし、5年ごとに計画の見直しを行うことを基本としています。次に、主な見直し内容です。計画を策定する際に、計画期間を40年としていることから、策定時の計画を維持し、主に次の点について改訂しました。第1章 背景・目的等の

3 施設の劣化状況です。計画案の8ページから10ページ、学校の建物ごとに構造躯体の健全性や躯体以外の劣化状況をまとめています。この表については、改修が済んだ建物については、評価を更新しています。例えば、8ページ、久寺家中学校区並木小学校の1番、2番の管理棟と3番の特別・普通教室棟の躯体以外の劣化状況のうち屋根・屋上と外壁については、現在の評価はいずれもAとなっていますが、令和2年3月時点での評価はCやDとなっていました。これは、令和6年度に屋上防水、外壁等改修工事を実施したことにより、今回の改訂で評価を変更しました。次に、計画書の15ページ、第5章今後整理すべき学校施設の課題と方向性、1 将来変化への対応、(1) 適正規模の検討基準の明確化の部分です。こちらは、学級編制を国が定める基準に準じて、小学校中学校とも見直しました。計画書16ページ、(2) 布佐中学校区における学校施設のあり方の検討の部分ですが、昨年度に布佐小学校の敷地に新たな義務教育学校を建設するということが決まりましたので、現状に合わせて内容を修正及び追加しました。続いて、(3) 湖北台中学校区における学校施設のあり方の検討の部分については、適正規模を下回る時期が今後10年以内にとっていたものを数年以内に変更しました。計画書17ページ、2 プール施設のあり方の見直しの部分ですが、小学校での水泳指導を民間事業者へ委託したことから、現状に合わせて内容を改正しました。次の給食施設のあり方の見直しについても現状に合わせて内容を改正しました。最後に、計画書21ページ、第7章 長寿命化の実施計画、1 改修等の優先順位付けと実施計画、(2) 今後10年間の整備計画(案)です。この計画は策定時に元々40年の期間で計画しているため、策定時の計画を基本としていますが、状況により、次の2点を考慮し、改訂しました。まず1点目は、令和6年度に実施した小中学校外壁調査業務委託の結果を受け、校舎等の建築当時から外壁改修を一度も実施していない校舎等の外壁改修の計画を中規模改修に追加しました。外壁改修の順番は、

外壁調査の結果により改修の優先順位に従い実施していきます。優先順位は、1番目が湖北台中学校、2番目は布佐南小学校、3番目は湖北台東小学校です。4番目以降については、外壁の劣化度に大差がないため、原則として建築年の古いものから改修を実施していきます。2点目は、水泳指導の民間委託に伴い、部位改修からプールろ過機を削除しました。

○丸教育長 ありがとうございます。以上で説明が終わりました。

これより質疑を許します。

質疑があれば挙手をお願いします。

○横山委員 計画書43ページ、久寺家中学校区の根戸小学校について、児童数が今後また増えていくというところについて、何か原因がありますか。

○高橋総務課長 児童生徒数の将来推計についてですが、計画書34ページ、推計方法として、基準年度が2019年5月1日現在の住民登録による学齢人口を基準人口として、学区・年齢・年度ごとに2049年までの30年間、コーホート要因法を用いて計測しています。根戸小学校の学区は、2000年代前半に、我孫子駅北口にマンション群ができたことに伴い、他の学校区に比べて、年齢別の人口構成で若い世代が多いことが原因かと思われます。この基準年を基に、生残率、移動率、出生率など考慮して、何年後にどうなるかを予測していますので、おそらくそれが原因ではないかと考えています。

○横山委員 分かりました。ありがとうございます。

○丸教育長 ほかによろしいですか。

○村松委員 同じような質問になってしまいますが、計画書42ページ、湖北台中学校区の湖北台西小学校について、現在、児童数は減っていますが、2030年以降伸びて、ある一定数の児童数があるようです。湖北台西小学校は、湖北台東小学校の児童とともに、湖北台中学校に行くという流れですが、数年後、湖北台西小学校の児童数の増加に伴って、湖北台中学校の生徒数も増

加するのではないかと思ったのですが、生徒数は増えていません。どのような理由ですか。

○高橋総務課長 確かに委員がおっしゃるように、湖北台西小学校と湖北台東小学校の卒業生のほとんどは、湖北台中学校に進学することになると思います。生徒数の増加については、後ほど、確認してお伝えしたいと思います。

○村松委員 あくまでも推測ではあると思いますが、推計方法に基づくデータだと思いますので、若干でも増える数値になるのではないかと思います。

○丸教育長 確かに今、湖北台中区に関しては、湖北台西小学校は単学級が3つありますので、3学年単学級です。湖北台東小学校は単学年が5つありますので、6学年のうち5学年が単学級というところで、早ければ3、4年後には、湖北台中学校区のあり方検討委員会を設けて、今後どうしていくのか、検討していく必要があると考えています。湖北台西小学校に関しては、今よりは少ない260人くらいの児童数、250か260人、一番高くても264人、一番高い数値を足しても、湖北台中区の児童生徒数が800人には多分いかならないと思いますので、そうすると、小中一貫の学校を作った方が効率的なのではないかという考えもありますので、そういったことも含めて、3、4年後の検討委員会の中でお話できたら良いと思います。ただ、児童生徒数が増えて欲しいのは確かです。そのほかよろしいですか。

○新山委員 計画書17ページ、プール施設のあり方の見直しについて、部活動で水泳部がある中学校においては別途検討していきますと記載がありますが、我孫子中学校においても今年の1年生の入部を持って廃部が決まっています。ほかの中学校についても、どれだけ水泳部があるか分かりませんが、これからおそらく、部活動は廃部になる場所もあると思いますが、これは、あくまでも5年間の計画ということで、このような書き方になっているのでしょうか。

○高橋総務課長 こちらの計画はあくまでも学校施設の維持管理という面から

記載させていただいています。小学校の水泳指導も民間事業者へ委託し、学校のプールは使用しない方向に向かっていますので、中学校のプールについても、部活というよりは授業において使用することを想定しています。維持管理についてですが、例えば、プールろ過機ですと、2千万円弱の改修費がかかりますが、そういった維持管理を考慮し、コストを考え、そのような大規模な改修が必要になった場合は、プールは使用せず、小学校のように民間事業者への委託を検討させていただければと考えています。

○丸教育長 我孫子市内の中学校で水泳部があるのは、我孫子中学校と白山中学校の2つです。現在、部活動の地域展開は休日について進めているわけですが、水泳に関しては、これを行う予定はありません。民間クラブに任せるといような考えを持っています。今後に関して、今のところはプールろ過機も正常に稼働していますので、そのまま続ける予定です。壊れたときは、もう新たに作るということはしない方向になると思っています。

○蛸原学校教育課主幹 今年度、小学校の水泳授業は、全て13校が民間事業者へ委託となりました。中学校についてもどうするかということですが、学校プールのろ過機は、改修に2,000万円近く費用が掛かるので、大規模な改修は行わず、生徒の水難事故防止のために、座学と併用して、命を守る学習ということで、着衣水泳を民間のプール施設で実施していくなど、そういった授業を実施することを検討していきたいと考えています。

○丸教育長 ほかによろしいですか。

○横山委員 計画書21ページ、今後の整備計画について、我孫子第一小学校の校舎建て替えが2031年から計画されていますが、建て替え中の仮校舎等はどのようになる予定でしょうか。

○高橋総務課長 建て替えのときに仮校舎を作るかどうかは、設計の段階で詳細に検討させていただきます。例えば、今ある校舎と別の場所に校舎を作る場

合には、今ある校舎を使いながら、新しい校舎ができたならそちらに移ってもらって、古い校舎を壊すということもできますし、場所の選定を設計の段階で実施した結果、今ある校舎の場所しか良い場所がない場合、今ある校舎を壊してその場所に作らなければいけないときは、例えば、我孫子第一小学校の第一校舎ですとかなりの児童がいますので、当然、仮設校舎をどこかに作って、建て替え工事を行うということも想定されます。

○横山委員 分かりました。ありがとうございます。

○丸教育長 そのほかよろしいですか。

○村松委員 計画書21ページ、布佐中区義務教育学校が2032年からのスタートとなっているが、これは義務教育学校の準備のための建設や整備がスタートする期間なのか、それとも義務教育学校自体の利用がこの時点でスタートできるようになる計画なのか、どちらでしょうか。

○高橋総務課長 こちらの計画に示しているのは、新しい校舎の新築工事を行う期間を3年間として表記しています。あくまでも予定ですが、いきなり工事が始まるのではなく、まず初めにどのような学校にするかといった基本構想や基本計画を策定し、その後に設計業務として、基本設計、実施設計を行って、令和14年度から工事が始められたらと考えていますが、その時の市の財政状況等を踏まえた上での対応となりますので、多少変わる可能性はあります。

○村松委員 分かりました。ありがとうございます。

○横山委員 2027年末までに蛍光灯の製造・輸入が禁止になるというニュースを見たのですが、学校では対応をどのように考えていますか。

○高橋総務課長 喫緊の課題だと認識しています。現状を申しますと、ほとんどの学校が蛍光灯のままとなっています。部分的には、例えば、我孫子第四小学校ですとか、LED化しているところもありますが、ほとんどの学校が蛍光灯のままです。今回の学校施設個別施設計画には反映できていないのですが、



LED化の優先順位を付け、計画的に進めていく用意をしていますので、計画が公にできるようになりましたら、この計画に反映し、お示しできたらと考えています。

○横山委員 分かりました。ありがとうございます。

○丸教育長 ほかによろしいですか。

学校施設について、どうしても子ども達が一番話題にするのは、トイレですが、トイレの洋式化率は、国の平均より高いですか。

○高橋総務課長 確か県や国の平均値が出ていると思いますが、市全体の平均は、それより若干超えているぐらいかと思います。ですが、学校によっては、洋式化率がとても低い学校もありますので、そちらについては、今後、洋式化の改修ができるように努めてまいりたいと思います。

○丸教育長 学級編成については、国が定める基準に準じて、小学校では標準35人学級を進めています。中学校についても令和8年度から令和10年度にかけて、段階的に標準35人学級を進めていこうという案が出ています。白山中学校と我孫子中学校については、教室が不足する可能性があるのですが、そこをどのようにしていくかというのが課題としてありますが、このようなことを今、教育総務部の中で検討している状況ですので、またこの辺も詳しく決まりましたら、御報告していきたいと思います。

ほかにありませんか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決します。

議案第1号、我孫子市学校施設個別施設計画の一部改訂について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 ありがとうございます。挙手全員と認めます。よって、議案第1号は可決されました。

---

#### 議案第2号

○丸教育長 続きまして、議案第2号、我孫子市生涯学習審議会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○斉藤生涯学習課長 議案第2号、我孫子市生涯学習審議会委員の委嘱についてです。

提案理由は、我孫子市生涯学習審議会委員の任期満了に伴い、我孫子市生涯学習審議会条例第3条第2項の規定に基づき、我孫子市生涯学習審議会委員を新たに委嘱するため、提案するものです。

3ページ、委嘱期間は令和7年7月1日から令和10年6月30日までです。委嘱人数は12人となります。新たに委員となられる方は、第2号委員（生涯学習の関係者）6名と第4号委員（公募の市民）の応募が1人となります。

○丸教育長 ありがとうございます。

それでは、これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決します。

議案第2号、我孫子市生涯学習審議会委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 ありがとうございます。挙手全員と認めます。よって、議案第2号は可決されました。

---

### 議案第3号

○丸教育長 続きまして、議案第3号、我孫子市文化財保存活用地域計画協議会設置要綱を廃止する告示の制定について、事務局から説明をお願いします。

○辻文化・スポーツ課長 議案第3号、我孫子市文化財保存活用地域計画協議会設置要綱を廃止する告示の制定についてです。

提案理由は、我孫子市文化財保存活用地域計画を策定し、推進するために設置された我孫子市文化財保存活用地域計画協議会について、我孫子市文化財保存活用地域計画が策定され、その任務を終えたことに伴い、要綱を廃止するため、提案するものです。この協議会は、当該計画を策定するに当たって、令和元年に設置されました。令和2年に計画を策定し、文化財保存活用地域計画としては、千葉県下では銚子市と並んで、第1号の認定を国から受けました。計画期間は令和3年度から令和9年度までの7年間で、昨年、令和6年度に中間報告を行ったことから、一定の役割を終えたと判断しました。今後は生涯学習審議会において、計画の進捗状況を報告していく予定です。

○丸教育長 ありがとうございました。

これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決します。

議案第3号、我孫子市文化財保存活用地域計画協議会設置要綱を廃止する告示の制定について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 ありがとうございます。挙手全員と認めます。よって、議案

第3号は可決されました。

---

### 諸 報 告

○丸教育長 それでは、日程第3、諸報告を議題とします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料などに補足する説明や追加する事項が全部で5点ございますので、そちらの説明から始めます。

1点目、「夏の子ども向け室内プール開放について」、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 市内在住在学の小・中学生を対象とした夏休み子ども向けプール開放事業ですが、今年もセントラルウェルネスクラブ我孫子で7月23、30日、8月6、13、20、27日のいずれも水曜日の6日間、ミナトスポーツクラブ天王台で、7月29、30、31日、8月29、30、31日のそれぞれの月末の6日間実施する予定です。7月1日に公式LINEより予約をいただきます。セントラルウェルネスクラブ我孫子は1日3回それぞれ110名定員、ミナトスポーツクラブ天王台が1日2回、それぞれ300名定員で、市内小学校を結ぶ送迎バスも運行します。なおオムツが取れている未就学児は保護者とともに利用可能としています。今年の夏も酷暑が予想されます。屋内プールを利用して、多くの子どもたちが安心安全に水泳を楽しんでいただけたと思います。

○丸教育長 ありがとうございます。質問等あればお願いします。

ミナトスポーツクラブ天王台が定員各300名ですか。

○辻文化・スポーツ課長 300名です。実際に私どもも現地を見ていますが、監視の面は十分行き届いているかと思っておりますので、実施については特に問題はないと考えています。

○丸教育長 昨年も定員は同じでしたか。

○辻文化・スポーツ課長 同じです。ただ参加者は、ミナトスポーツクラブ天王台に関しては、定員いっぱい来ているわけではなく、多くても200名ぐらいです。日によってはもう少し少ない日もあると思います。特に8月の終わりになると、あまり参加率は高くありません。

○丸教育長 ありがとうございます。

よろしいですか。

続きまして2点目、「我孫子市民文化祭プレイベントみんなの文化体験会」、「夏休み子ども向けワークショップ楚人冠ってこんな人！」について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 今年で3回目になるみんなの文化体験会ですが、子ども達が参加しやすい夏休みの7月26、27日の土日に開催します。場所はアビスタと湖北地区公民館を使用します。事前にLINE申請していただく講座と当日誰でも参加できる体験会の2本立てとなっています。講師は文化祭実行委員会の方々に、大人から子どもまで文化体験を楽しんでいただければと思います。また、杉村楚人冠記念館のワークショップは、今まで単独で開催してきましたが、この体験会とコラボすることによって、より多くの市民の方に御参加いただければと思います。

○丸教育長 ありがとうございます。

みんなの体験会はとても好評ですね。我孫子市文化連盟の方がすごく頑張ってくださいっています。今までは9月の夏休み後でしたが、今回は夏休み中に開催ということで多くの方が来ることを期待しています。

御質問等よろしいですか。

それでは続きまして3点目、「旧井上家住宅で夕涼み 手持ち花火大会・むかしのあかり」について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 花火は日本の夏の風物詩と呼ばれていますが、昨今

路上や公園で花火をすることは、禁止されている状態です。旧井上家住宅では、住宅の前に広がる駐車場を活用し、夏を楽しむイベントとして、手持ち花火限定の花火大会を開催します。開催日時は7月26日の17時から19時までです。各回3組で、1組当たり7人、最大21名の方がご参加いただけます。申し込みは7月7日よりLINEで申請していただきます。対象は小学生以上とされていますが、保護者同伴の幼児に関しては、参加人数等には数えずに参加していただけます。また、むかしのあかりに関しては、同日に旧井上家住宅にランタン型の照明を置き、昔の家がいかに暗かったのかというところを実際に体験していただくイベントです。本来であればろうそくを使用することになりますが、火災のリスクを避けるということで、ろうそく型のLEDで対応させていただきます。こちらは予約不要のイベントで無料ですので、ぜひ御覧いただければと思います。

おひるねじかんについては、8月23日に実施します。夏の暑さを体験するイベントです。実際には、夏の暑さをしのぎながらということになりますので、お昼寝をしながら、タライに氷を立てたり、打ち水をしたり、当時の人達がどのように真夏の暑さをしのいできたのかというのを実際に体験していただくイベントとなります。浴衣や甚平着用の方は無料のイベントとなりますので、ぜひ御参加いただければと思います。

○教育長 御質問等あればお願いします。

おひるねじかんは、私も参加しましたが、とても良かったです。結構涼しいです。どのように企画しているのでしょうか。

○辻文化・スポーツ課長 学芸員等が普段の雑談の中から、他市で実施しているものなどを参考にして、何か面白いことができないかということで、話して実施しています。

○丸教育長 素晴らしいですね。そのほかにも考えてる企画があるのでしょうか。

か。楽しみにしています。

よろしいですか。

それでは、本日追加された資料「我孫子市めるへん文庫」について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 今年も第24回我孫子市めるへん文庫を募集しています。今年も市内市外問わず、多くの子ども達に参加していただけたらと思っています。先日、めるへん学校という創作ワークショップを実施し、そちらの場所でも、ぜひ書いたものを投稿してほしいという告知をしてきたところです。創作に関心のある子ども達にたくさん参加していただけたらと思います。

○丸教育長 ありがとうございます。

御質問等あればお願いします。

よろしいですか。

それでは続きまして4点目、「アビコでなんでも学び隊について」、斉藤生涯学習課長、お願いします。

○斉藤生涯学習課長 アビコでなんでも学び隊ですが、小中学生を対象にした講座となっています。講師は地域で活動している方、学校、企業などと連携して、普段体験できない実験や工作など、学び体験をしていただく講座となっています。夏休みを中心に年16回実施します。そのうち7月は6回実施します。今年初めての企画としては、3つメニューがあります。3番、「ARで動き出すMyキャラを作ろう」、6番「白黒つけよう！カラスのウワサ」、8番「睡眠中の夢とココロ～いますぐ眠りたくなる夢の話～」の3つが新しい企画です。特に3番は、多数の申し込みをいただいています。講師の方は市内在住のグラフィックデザイナーの方です。自分で考えたキャラクターを紙に書いていただき、ARアプリを使いスマートフォンを通して、バーチャルの空間で動き出すオリジナルのキャラクターを楽しむ講座となっています。6番は、鳥の博物館の学

芸員の方から、カラスの生態について学ぶ講座となっています。8番は、大学の心理学の教授の先生から、夢を見る仕組みなどについて学びます。募集は市のホームページや、7月1日号の広報で募集しているほか、6月3日に市内の小学校全校にこのチラシを配布しています。今後も小中学生に興味ある講座を企画し、公民館学級の充実を図っていきたいと考えます。

○丸教育長 ありがとうございます。

こちらもとても人気のある講座です。続けていっていただきたいと思います。御質問等あればお願いします。

よろしいですか。

続きまして5点目、「第94回企画展 とりホネ展—骨からわかる鳥の進化と多様性—」について、大山鳥の博物館長、お願いします。

○大山鳥の博物館長 第94回目の企画展として、鳥の博物館がこれまで収集作成してきた骨格標本に関する展示を開催します。期間は7月12日から11月24日までです。骨格標本と3Dデータを通し、環境に応じて鳥の体に変化してきた歴史と骨の機能について御紹介する企画展となっています。関連イベントとして、「鳥のホネが語る恐竜の痕跡」と題したセミナーのほか、小中学生にも楽しんでいただける「とりホネ関節模型を作ろう」や「とりホネパズル」といったイベントを開催する予定です。大勢の方にお越しいただきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

○丸教育長 ありがとうございます。

御質問等あればお願いします。

とりホネ展は初めての開催ですか。

○大山鳥の博物館長 「とりホネ展」と題して開催するのは初めてです。

○村松委員 鳥の骨自体は常時展示されていますよね。今回は、それ以上に数多くというか、また違うようにディスプレイされているのですか。



○大山鳥の博物館長 そうですね。鳥の骨の全身の骨格標本のほか、触れる拡大レプリカ（トビの頭骨）など、3Dプリンターを活用して、拡大した鳥の骨の一部ですとか、そういったものを企画展のコーナーに多数展示する予定です。

○村松委員 とても楽しみにしていますので、よろしくお願いします。

○丸教育長 ありがとうございます。よろしいですか。

それではこれより事務報告に対する質疑に入ります。

質疑があれば挙手をお願いします。

○村松委員 事務報告5ページ、一斉防犯パトロール街頭指導のところ、指導内容に高校生2人とあります。青少年相談員として、私も街頭パトロールを実施してきましたが、高校生に対しては、声掛けや指導、接し方というのはとても難しく、特に法的に違反する場合以外は、高校生にどのような指導を心掛けているか、教えていただければと思います。

○佐藤少年センター長 公園等で休んでいる時に、帰宅指導をするなどの声掛けを行っています。非行行為を行っている生徒と出会うことは比較的少ないもので、お話をしている最中に帰宅指導を促すというような形で丁寧に対応しています。

○村松委員 ちなみに高校生って何時まで外にいられるのですか。

○佐藤少年センター長 夜は基本的には深夜徘徊の11時が一つのラインかと思いますが、やっぱり、近年では多様化した生活スタイルがありますので、塾に行ったりだとか習い事等も含めてなんですが、学校が何時までに帰りなさいという指導は今のところお聞きしてないので、御家庭の判断になるかと思えます。

○村松委員 それを含めて、例えば夜8時に外にいる高校生に自宅に帰りなさいっていうのもそれが正しいのかどうか、すごく判断が難しいところだとは思いますが、声を掛けること自体は、とても大切な活動だと思いますので、今後

も続けてほしいと思います。よろしく申し上げます。

○丸教育長 ありがとうございます。ほかにございますか。

それでは、ないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について、質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 以上で令和7年度第3回定例教育委員会を終了します。お疲れさまでした。

午後10時50分閉会